



Amir Tsarfati

[ウィークリー・ニュースレター]

2021年1月15日～21日（日本時間 1/22 午前1時配信）

まるで砂漠に輝く美しい宝石。それが、ドバイの街の夜景です。そびえ立つ高層ビルが見事にライトアップされています。眼下の街に見える車の流れと喧騒。たくさんの人影。しかし、華やかな街の光が無くなる淵の外側には、砂漠と、荒廃と、死があります。私にとって これは「福音のメタファー」（比喩／暗喩）です。

イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。」（ヨハネ 14:6）

使徒ペテロは、支配者、長老、律法学者に説教しました。

「この方以外には、だれによっても救いはありません。天の下でこの御名のほかに、私たちが救われるべき名は人に与えられていないからです。」（使徒 4:12）

キリストだけが“永遠のいのち”です。私たちの救い主イエスの福音の“美しい宝石”の外にある、他のすべての信条概念では、砂漠と荒廃と死しか見つけられません。

私は土曜日、新刊「イスラエルと教会」の朗読版（※英語）の収録を終え、とても安心しました。声を録音する作業には疲れ果てましたが、完成品になるのが楽しみで、とてもワクワクしています。私は、神がこの「オーディオ・ブック」（朗読版）を用いて、福音とご自身のご計画の真理を世界中にいる多くの“選びの民”の耳に届けると信じています。

日曜日、ロサンゼルス空港から飛行機に乗って、アラブ首長国連邦ドバイに着きました。16時間の空の旅は、想像通りなかなか大変でしたが、それでも勉強したり休む時間ができました。しかし、機内で目の前にあった小さなディスプレイが映し出す地図で、自分がイラクの上空 10km を飛んでいると気づいた時、非常にシュールな気持ちになりました。私はすぐに窓の外を見渡し、こちらに向かって来るミサイルがないかどうか、思わず確認してしまいました。

私は、ここドバイで過ごす時間を楽しみにしています。かなり盛り沢山になる筈です。昨夜の「中東時事アップデート」をご覧になった人もいるでしょう。また、将来のプロジェクトに向けた下調べをするため、市内を視察する時間も長く確保しています。最後に、テレビインタビューとミニストリーのイベントが幾つかあります。最も楽しみにしているものの一つは、先見性と行動力に富むクリエイティブな集団「Voice International」が主催するイベントで、教会の長老、牧師、一般の信徒達に話す機会です。どうか神が、この特別な時間を通して、キリストにある指導者達を励まし、神を必要とする人々に福音を分かち合えるようお祈りください。

アメリカを離れるのは辛かったと認めざるを得ません。いずれ私がここに戻って来る時には、私が愛して止まないこの国は、見た目にも感覚的にも全く別物になっている事が分かります。この国の政治的展望について悲観的ですが、それでも私は、教会に関しては非常に楽観的です。これは、信者にとって“すべてが突然バラ色になる”と私が信じているからではありません。実際、正反対になると予想しています。しかし、私たちが知るように、クリスチャンが強くなるのは逆境を通してです。アメリカの教会はここしばらくの間快適であり、快適さは しばしば慢心につながります。名目だけのキリスト教は、もはや成り立たない日が



Amir Tsarfati

[ウィークリー・ニュースレター]

2021年1月15日～21日（日本時間 1/22 午前1時配信）

来ています。クリスチャンは決断を下す必要があります…「私は信者なのか、そうではないのか？」信者でいると決意した人は、中途半端ではられません。これら完全に決意を固めたクリスチャンを通して、福音が拡大し、教会がより強くなるのです。

そればかりではなく、患難さえも喜んでいます。それは、患難が忍耐を生み出し、忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出すと知っているからです。

この希望は失望に終わることがありません。なぜなら、私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。（ローマ 5：3-5）

中東について

イスラエルや中東の諸地域では、バイデン政権が中東地域にとってどんな影響を持つのか、不安が漂っています。ドナルド・トランプ大統領は、イスラエルがこれまでに見た中で最高の盟友であったことを疑う余地はありません。首都をエルサレムに移したことに始まり、ゴラン高原をイスラエル領とし、アブラハム合意と和平協定の承認まで、ユダヤ人国家はかつてないほど優れた地政学的状況にあります。しかし、今度はどうか？ ジョー・バイデンや以前のオバマ政権が、イスラエルに友好的であると非難されたことはありません。実際、イスラエルとイランが決勝に残った2人の女性だとすれば、若い騎士からバラを受け取るのは、イスラエルではないようです。

イランは、バイデン政権になれば地位が回復することを十分認識しています。先週、予想される緊張緩和に勇気づけられ、テロ支援国家は2日間のミサイル演習を実施して、己の強さを誇示しました。これは何ら目新しいことではありません。イランが何としてもやりたい事が2つあるとすれば、それは「アメリカの死」を唱えて、軍事演習を実施することです。イランは常に実戦演習を行うための大義名分を探しています。「今日の太陽はとても暑いので、ミサイルを発射しましょう。」「私のお茶には、角砂糖が2つではなく、1つしか入っていない。ポート1隻を出撃させ、米軍艦に嫌がらせをしましょう。」

これら一連の演習で興味深いのは、やはり（新政権）就任直前というタイミングと、ミサイル発射活動の規模の大きさです。土曜日の訓練は主に海上目標物に焦点を合わせていましたが、前日の演習では「地対地ミサイル」を使用しました。イランがイスラエルを攻撃するために使用したいのは、これらの「地対地ミサイル」です。イスラエルは心配する必要がありますか？ さあ、賭けてご覧なさい！ 最高のミサイル防衛システムでさえ、ロケット全弾の迎撃は不可能という理由だけでなく、聖書的にイスラエルがこの種の攻撃を被ると告げているからです。

エゼキエル書 38章で、神は「終わりの日」にイスラエルに敵対する軍勢に語りかけます。このリストには、エチオピアやリビア等と並んで、ペルシャ（＝イラン）が含まれています。主は預言者を通してこう言われます。

あなたは、あらしのように攻め上り、あなたと、あなたの全部隊、それに、あなたにつく多くの国々の民は、地をおおう雲のようになる。（エゼキエル 38：9）



Amir Tsarfati

[ウィークリー・ニュースレター]

2021年1月15日～21日（日本時間 1/22 午前1時配信）

さて、もし私が「気をつけろ、嵐が来るぞ」と言ったら、あなたはどっちの方向を見るでしょうか？ あなたは地面を見下ろしてこんな風に言うのでしょうか？「どうやら雨のようだ」、もちろん違います！あなたは、空を見上げます。この大軍勢は、曇り空から暗い影のように地を覆い尽くすだけでなく、雷鳴とどろく嵐の雨や雹のように、暴力を人々の上に降り注ぎます。無力な民へ ミサイル攻撃。なんと完璧な描写でしょう。

ミサイルだけではありません。イランは火曜日には、オマーン湾近くで地上部隊の訓練を始めました。繰り返しますが、彼らは軍事演習が大好きです。ヘリコプター、航空輸送、膨大な量の軍隊が、力を磨き合うことで、イランの周辺諸国に対して、自分の足元に気をつけた方が良く示すべく演習を遂行したのです。

朗報なのは、イスラエルに対する“大きな友情の証し”として、最後にトランプ大統領は、中央軍（CENTCOM）にイスラエルを編入するよう挑み、承諾を獲得できました。イスラエルは、もはや欧州軍（EUCOM）の飛び地ではありません。これまでの CENTCOM における優先案件の展開図を一覧すると、東はカザフスタンやパキスタン、西は エジプトやシリアなどの国が広がっています。しかし、目を凝らしてよく見ると、地図中に「グレイ・アウト」（非加盟 扱い）されている小さな国、イスラエルの姿が見つかります。今や CENTCOM に仲間入りしたことで、この地域一帯での軍事情報と影響力を大幅に高めることになるでしょう。これはイスラエルが長年望んでいたことです。政権末期のトランプ大統領からこれ以上の贈り物をイスラエルは求めることが出来ませんでした。

ミニストリーについて

ドバイでの滞在を楽しみにしている一方で、帰国のことが気になります。イスラエルが間もなく空港を閉鎖する噂が飛び交っていて、もしそうになると私はここに足止めされてしまうでしょう。ドバイは訪れるのに良い場所かもしれませんが、私はここに住みたいとは思いません。私がアラブ首長国連邦にいる間、実り多いミニストリーができるようにお祈りください。そして時が来たら家族の元に帰れますように。

また、ブラジル「講演ツアー」と その後に続く、南アフリカの「アウェイティング・ヒズ・リターン」ツアーのためにもお祈り頂きたいと思えます。穂は収穫を待つばかりに熟しており、聖霊は働いています。これらの国々への道が まっすぐにされ、人々の心が開かれるよう、主に求めてください。

もしまだ、バリー牧師と一緒に配信した「Q&Aセッション」を観ていないなら、ぜひご覧ください。私たちは、携拳から 永遠の安全保証、改革神学まで すべてを扱い、有意義な時間を過ごしました。また、昨夜（1/20）の「中東アップデート」も、ぜひご覧ください。

近頃、毎週のように「私の証し」の動画を見たいというリクエストを多く頂きます。神が、この“失われた十代の男”を どのように（世から）取り出し、彼に“命と希望” を与えられたのか、「証し」の短いバージョンを聞きたい場合は、脚注のリンクにアクセスしてください。

ソーシャルメディアの全面的な検閲で、私は最近 自分の「Twitter アカウント」を削除しました。今は「テレグラム」(Telegram) で、ソーシャルメディア投稿を見ることができます。当分の間 Facebook も続けます。



Amir Tsarfati

[ウィークリー・ニュースレター]

2021年1月15日～21日（日本時間 1/22 午前1時配信）

私の3冊目となる書籍『イスラエルと教会』の発売まで、カウントダウンが始まりました！ 現在、予約受付中です。先行予約の場合、2月から「ボーナスアイテム」が付きます。（既に予約済みの方も対象となります）

付属の「学習ガイド」もオンラインストアで購入できます。オンラインストアでは、印刷できる「メッセージの文字起こし」PDFファイル（*英語のみ）を収録したDVDも無料で頒布しています。

※日本語版「文字起こしPDF」は、脚注のリンク参照

「ヤングアダルト弟子育成（YAD）」ミニストリーの新しいイベント、「The Word, The World & You」にご注目ください。これは米国時間（PST）1月23日（土）午後12時（※日本時間 1/24 朝5時）に Facebook と YouTube で初公開します。初回のテーマは「信者の人生における預言」です。

「聖書の公開朗読」（PRS）にご参加ください。米国時間（PST）毎週木曜 午後6時（※日本時間 金曜 午前11時）です！ ビホールドイスラエルのこだわりは、神の御言葉を尊重することです。一緒に読むことより良い手法はあるでしょうか？

何時も お祈りと、経済的な支援をしていただき、心から感謝いたします。あなたは、私と「ビホールドイスラエル」のチーム全体にとって 主が用いる祝福の通り管です。

昨日は、大統領選挙がドナルド・トランプから盗まれたと感じている何百万人もの人々にとって困難な日でした。怒り、悲しみ、悔しさ、絶望など、多くの感情が渦巻いています。それらの感情は完全に自然であり、そう感じることに何の問題もありません。神は私たちが感情を持つ存在として創造されました。問題は、あなたが感情をどう扱うかということです。あなたは、感情に支配されるがままに絶望や苦味の中へ引き込まれて行くのですか？ あなたは否定的な態度になって、世界に腹を立てますか？ それとも、それらの感情を主に委ねますか？ あなたはそれらを十字架の足元に置いて、御父の嗣業に取り掛かりますか？

私たちの国籍は、何よりもまず天にあることを忘れないでください。私たちは、自分たちを召し出してくださいと王に仕えます。私たちの（地上の）国の政府で何が起きているか知っておくのは良いことです。神があなたを召しておられる場所であれば、そこに加わるのは良いことです。しかし、私たちが行うすべてにおいて、この世での第一目的は、キリストの福音を輝かせる光であることを忘れてはなりません。頭を垂れていたり、怒った顔をしていたら それは出来ません。

教会にはこれから厳しい時代が待ち受けていますので、主を喜ぶことが私たちの力になるよう努めなければなりません。主に寄り頼むことと、主が支配しておられることを知ることによって、神を愛し、人を愛し、御父に仕え、主の愛の光を周りの世界に輝かせるという、この世で本当に大切なことに焦点を合わせられるのです。

さらに、ネヘミヤは彼らに言った。「行って、上等な肉を食べ、甘いぶどう酒を飲みなさい。何も用意できなかった者にはごちそうを贈ってやりなさい。きょうは、私たちの主のために聖別された日である。悲しいではない。あなたがたの力が主が喜ばれるからだ。」（ネヘミヤ 8:10）



Amir Tsarfati

[ウィークリー・ニュースレター]

2021年1月15日～21日（日本時間 1/22 午前1時配信）

「あなたがたは、世界の光です。山の上にある町は隠れる事ができません。また、あかりをつけて、それを柀の下に置く者はありません。燭台の上に置きます。そうすれば、家にいる人々全部を照らします。このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたがたの良い行ないを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい。」（マタイ 5：14-16）

主の再臨を待ち望み
アミール ツアルファティ

<https://mailchi.mp/beholdisrael/amirs-weekly-roundup-july-7-22-1006321>

<NEWS>

■イラン、トランプ政権をテロ政権として非難。大統領と他の要人に制裁を課す

2021年1月20日

ドナルド・トランプ大統領の任期最終日に、（イラン）イスラム共和国は、大統領と複数の政権関係者に象徴的な制裁を課した。対象には現職者も歴任者も含む。

■イランの地上部隊、攻撃的軍事演習「Eqtedar99」開始

2021年1月19日

イラン軍は火曜日、国内南東部で陸軍地上部隊が率いる新たな演習を始めた。軍の複数の部門からなる合同演習。この2週間で5番目となる演習と報告されている。

■米国トランプ大統領、モロッコから最高褒賞を受賞：イスラエルとの国交正常化で

2021年1月18日

米国の交渉団の仲介で、イスラエル及び アラブ諸国との間で外交協定を結ぶに至った功績により、米国大統領（POTUS）は、モロッコから最高褒賞を受賞した。

■イラン、示威的軍事行動で大規模ミサイル発射演習を実施

2021年1月16日

イスラム革命防衛隊（IRGC）は、湾岸諸国、イスラエル、米国と緊張が高まる中、数日間にわたり大規模なミサイル発射テストを敢行した。

■イスラエル、地政学的変化に伴い CENTCOM 一員に

2021年1月15日

ウォールストリートジャーナルが最初に報じたところによると、大統領はイスラエルを初めて「中央軍（CENTCOM）」に統合し、21番目の国とするよう命じた。



Amir Tsarfati

[ウィークリー・ニュースレター]

2021年1月15日～21日（日本時間 1/22 午前1時配信）

※脚注

動画：アミール・ツアルファティ 証し（日本語吹き替え版）

https://youtu.be/_YIBImz-NWs

日本語版 文字起こし PDF

リンク先：DIVINE US, INC

<http://divineus.org/>